

特別講演

萎えるとき ～大被害に遭って～

澄川宜史

株式会社澄川酒造場

「一步」。私事ではありますが、今の私には非常に身近な単語です。私は、実家である山口県萩市に位置します株式会社澄川酒造場で日本酒を製造販売させて頂いており、その日本酒の名称に「東洋美人一步」と名付けております。その名前の由来は、平成25年7月28日の「平成25年萩市東部集中豪雨災害」にさかのぼります。この水害により、2メートル強の濁流にのみこまれ、会社、同じ敷地内にあります自宅とも壊滅的な被害を受けました。当時は、酒造りはおろか、日常生活も全くままならない日々が長い間続きました。この時、山口県内はもとより北は北海道、南は鹿児島から、延べ2000人を超える同業の皆様、お客様、ボランティアの皆様が駆けつけてくださり、毎日炎天下の中、復旧作業をお手伝いして頂きました。あれから4年が過ぎ、まだまだ災害のつめ跡は弊社も含め、いたるところに残っておりますが、その年の12月、酒造りを再開させて頂き、その時に初めてできた日本酒に、皆様に酒造りの土俵に戻して頂いた感謝の気持ちを胸に刻み、「0」からのスタート、また「初心を忘れず酒造りに精進する」という想いを込め、「東洋美人原点」と名付けました。それから2年後の4月より、「0から1、原点から一步を踏み出す」、「急がず一步、一步前をむいて歩む」という想いで現在は「東洋美人一步」と名付け、日々お酒造りと向き合っております。平成25年7月28日を境に私の心のうちも以前より少し変化が生まれました。少し語弊はありますが「諦めることの大切さ」に気付かされた、というか気付かせてもらったからです。それまではどんな時でも「前向きな気持ちで、前向きな行動を続けていれば人間はいつか成長できる、一步前に進める」と信じて生きてきましたが、4年前の夏は「マイナスの行動を瞬時に決断し行動し続ける」ことでしか一步も前に進んでいけないような状況でした。もとは絶対に戻らない現状を理解し、物も気持ちも廃棄、撤去でしか前に進めませんでした。もちろん、今

でも「前向きな気持ち、前向きな行動」は常に心がけていますが、同時にこの「諦めることの大切さ」を学び、一人の人間として少し強くなれたような気がします。同時に将来の目標、未来予想図は描かないことも決意しました。どんなに、前に進んでいても、一瞬にして「0」はおろか「マイナス」になってしまう経験からです。「未来より今」、「今を精一杯生きる」。「精一杯の今の一步」の積み重ねが、少し時間がたち、立ち止まってうしろを振り向いたとき、素敵な「過去の一步、一步」と思えば少し幸せかなと思います。

災害はいつ何時、どのような形でふりかかってくるか予測はできません。被災した当時の心境、そして復興への想いをお話させて頂き皆様の参考になれましたら本望です。